

パネルディスカッションの論点

- 支援先機関の所感、今後の課題を踏まえ、下記の通り論点を整理した。ディスカッションにて論点を深めて参りたい。

論点	具体的な内容
① 自然関連情報分析を通じた気付きと課題感	● GICS・産業サブグループと自行業種分類の紐づけの難しさ（対応関係、事業展開の幅） ● 地域性を反映したデータの入手・活用の難しさ、ENCOREスコアの解釈の妥当性 ● 融資先拠点の分析対象数、要注意地域との隣接状況判断の妥当性 ● リスク・機会整理の網羅性、定量的評価の難しさ、金融機関の対応策と融資先のリスク・機会の一致
② 今後の分析の高度化	● 今後の高度化の方針：LEAPアプローチの深堀か、横展開か（セクターの追加、地域の追加） ● 分析対象のセクターを拡大する場合のツール選定の考え方 ● 気候変動と自然課題の対策の統合的な整理、社内体制の整備、開示に向けて
③ 分析結果の活用（エンゲージメント等）	● 行内での分析結果の共有状況・反響、エンゲージメントの検討状況と今後の予定 ● 融資先の実態値とギャップもある中、エンゲージメントでの分析結果の的確な伝え方（自然との接点・依存・インパクトの理解を醸成すること、リスク・機会の対応策を実行することの間が乖離） ● エンゲージメントの根拠となる指標・リスク・対応の必要性を示すことの難しさ ● エンゲージメントにおける気候変動と自然資本の効果的な組合せ方
④ 地域金融機関に期待される役割	● 特に地域金融機関の特徴と役割、自然資本保全を推進する意義 ● ランドスケープアプローチを推進する際のポイント（行政計画のレビュー・ステークホルダーとの座組構築等）